

ほんかの短歌

花みずき じみにあやかの とてちい じかに咲く じかに散る (4/4月)

しばざくら じみにあやかの 庭に咲く 心の中に咲く 花火 (4/4月)

みけ猫は じみにさね物の うれしがり 人を慰め 食はわすか (4/4月)

盲導犬 じみに<sup>はたか</sup>ゆく 武勇伝 人を励まし ちい<sup>ち</sup>ずぬ (4/4月)

春ぬくし じみにあやかの 中高年 シヤの服は コバルトブルー (4/4月)

春ぬのに 寒<sup>さむ</sup>の差が はげして 選んで欲しい 着るもの 選ん<sup>ん</sup> (4/4月)

若きとき 近くに見えた 山々が 年とる程に 遠くに見える (4/4月)

〃 軽<sup>かろ</sup>いに見えた じか箱 年とる程に 重<sup>かん</sup>く感ずる (4/4月)

〃 禁<sup>い</sup>のめた 水一杯 〃 の中<sup>ちゆう</sup>の<sup>の</sup>に 苦<sup>く</sup>ず (4/4月)

〃 さび<sup>さび</sup>さなにか 何もなし 年とる程に 黄昏<sup>たそがれ</sup>の 月々 (4/4月)

ふかみどり 山に<sup>やま</sup>つられて 川々も 急<sup>いそ</sup>ぎ流れる クリーンハー (4/5月)

しばざくら たのみもせず<sup>も</sup>に 咲<sup>さ</sup>きみたれ 花の<sup>はな</sup>い<sup>い</sup>たん リーチ<sup>りーち</sup>の<sup>の</sup>歳<sup>とし</sup>に (4/5月)

〃 〃 〃 心<sup>こころ</sup>の<sup>の</sup>す<sup>す</sup>間<sup>ま</sup> み<sup>み</sup>た<sup>た</sup>て<sup>て</sup>く<sup>く</sup>れ<sup>れ</sup>る (4/5月)

ほんわか 短歌

しげさくら たのみ世すにさきみだれ 心の邪心<sup>いとし</sup>きよめてぬる (4/5月)

花みずき 豪華にさくら 印象に のぞらないのが 素朴でいな (4/5月)

♪ ♪ 心もち 大附抱なののが 性に合う (4/5月)

♪ ♪ やさしい 音鏡着姿の おぼさんみた (4/5月)

♪ ♪ 親しめる 見てあきない 深いやすらぎ (4/5月)

八重桜 桃色の花 さきみだれ 心の中に 春が一杯 (4/5月)

♪ ♪ ふくらんで やさしい心 胸にひろがる (4/5月)

初夏の今 <sup>かた</sup>華麗な衣装で 庭に咲く 妻の愛した シヤクヤク花 (4/5月)

夜中にも ナスコールでよびだすと 看護の女が かきつけてくる (4/5月)

夜9時に ヒカリと消灯 病床で 翌朝おはつき <sup>まよ</sup>妄想 (4/5月)

病院の 食事の量は 少なく おやつも無い いつもガツガツ (4/5月)